

ベンチャー企業が 日本を救うという嘘？

- ベンチャー企業が日本を救う！などと、政府首脳もマスコミも囃し立てています。
- しかし、誰でも出来ることならやりたいのです。でも出来ないのは何故でしょうか。日本では出来ないからです。出来ないように社会全体がシステム化されています。それを若者よ中小企業よと言うのは、呆れるほかありません。

特許制度の運用に問題あり!

- 一番大きなポイントは、特許です。
日本では、企業でも大学など公の研究機関でも、特許を取得した場合、所有権は組織に帰属します。これが、日本でベンチャービジネスが育たない理由です。

欧米では、企業や大学の研究者が特許を取得して、それをもとにハイテク企業を起すのです。今の日本は、武器なくして、戦えと言っているのと同じです。

なぜ、日本では特許が個人に与えられないか？

- 日本は、個人より組織が大切。

その理由として研究・開発には相当な費用がかかります。それを負担するのは、企業や政府など組織です。ですから日本は資金を出した者に、所有権が発生します。それを誰も疑いません。

欧米は個人尊重 創造性の尊重が徹底している

- 欧米は個人に特許の所有権が与えられます
- その理由は、人間尊重、創造力の尊重が徹底しているからです。

どんなに高額な研究費を出しても、創造力ある研究者が居なければ、成果は出ないことが社会的コンセンサスとなっているのです。

日本の文化的土壌に問題あり！

- 組織を重視することは間違っていない。しかし、その理由が、個人より企業を優先する理由は何でしょうか？ お金の出しても企業と組織だからでしょうか？ 個人のエゴが強くと出すぎると組織がもたないという理論がありますが、現に欧米では、個人と企業がちゃんと機能しています。
- お金より大切なもの、この場合は、創造性の大切さを重要視することですが、研究費を出したのに、特許を持って辞めていくのを、企業や政府は大損だと思ってしまう。しかし、それが廻り回って、国家を豊かにして、国民を豊かにすることに気付くべきです。

日本は個人尊重に向かうべきだ

- 欧米を、四半期の決算に振り回される、器量の狭い国だと言った多くの政財界の人達がいましたが、そっくり返してもらうべきです。器量の狭いのは、実に日本です。

研究者・技術者が夢を持てる、社員1人1人が夢を持てる、学生が夢を持てる、子供が夢を持てる社会をつくる必要がある。

頭脳流出が進む日本

- 日本を見限って、頭脳流失は益々増えています。皆こぞってアメリカにいきます。
- 学者だけではありません。芸術家もそうです。企業も日本に拘らなくなりつつあります。老後の福祉が充実した地方自治体に引越する気持ちは、分るでしょう。
- 個人の能力を正当に評価できない国は頭脳流出が加速します。

日本に残るのは誰か？

- 夢も希望も無く、規制や苦痛ばかりが多ければ、脱出能力のある人・企業は、日本を去って行きます。

日本に残るのは、無能で、日和見で、親方日の丸で、創造性の無い無気力な人ばかりになってしまいます。

あとは不幸にも健康的にや家族関係や、日本的なしがらみに縛られた不幸な人も同じ目に遭ってしまいます。

大学では何を教えているか

- 日本の大学でも、民間企業の研究所でも「アメリカのやってない研究はするな」と言われます。国力でも、過去の研究成果でも、雲泥の差があるアメリカと同じ研究をなぜ奨励するのでしょうか？
- それでも自主独立な研究をしないのは、優位に立とうという意志が無いからです。これでは、いつになっても、日本は後進国から先進国には、なれません。

日本は今でも下請け国

- 実は、日本は今でも下請国として、特別画期的な技術も学問も、知的所有権もないままの国なのです。日本は、過去も現在も、後進国、低開発国です。このままでは、未来もそうです。

日本を、夢と希望のある国にしたいものです。